この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者ま で直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料 (例:血液など) や診療情報(例:カルテの情報など) をこの研究に使ってほし くないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さ 61°

≪試料・情報 | ●研究の名称

び利用方法≫

の利用目的及一ヒト固形腫瘍の遺伝環境表現型相関

●研究の対象

浜松医科大学および関連病院(聖隷三方原病院、聖隷浜松病 院、浜松医療センター、磐田市立病院、浜松労災病院、県立 総合病院、静岡市立静岡病院、静岡済生会病院、島田など)で 固形腫瘍(消化器、呼吸器、泌尿器、骨軟部、婦人科、脳神経 外科、乳腺、頭頚部等)の手術をうけられ、病理組織検査の 対象となった方々。また、がんの原因に関わる調査に同意を いただいた方々。テーマに応じ国内外の共同研究に参画する 諸外国の共同研究者の病院の症例についても含みます。

●研究の目的

当大学のような研究機関あるいはその関連の研修指定病院な どでは、将来の医学医療のために、医学研究を行なっていま す。本学あるいは上記のような研修指定病院で腫瘍の手術を されたかたは、病理部門で、病理診断を行い、その腫瘍の種々 の性格を解析して、当該の診療に指針をあたえる作業が行わ れます。さらに、それだけでなく、疾病の全体的な傾向や未 だ未知の部分を明らかにするために、統計解析をする、医学 の進歩、将来の診断・治療のために種々の探索といった作業 が行われています。本研究はとくに上記の固形腫瘍が病理部 門に提出されたあと、病理診断に必要な部分の残余の部分を 用いて、非腫瘍部、腫瘍部の核酸やその修飾、多数組織をあ つめて、組織形態変化の把握のため組織染色・免疫染色法の 改良や新しい手技の確立、予後や腫瘍の原因に関係する分子 マーカーの探索予後や腫瘍の原因に関係する分子マーカー (腫瘍部の包括的遺伝子解析)の探索、診断法の開発や評価、ヒ トの代々受け継がれる遺伝的な特性(遺伝子多型)、生活習慣 を反映すると考えられている痕跡(DNA 付加体・マイクロバ イオーム・メタボローム)、あたらしい検出機器による脂質成 分の同定(質量顕微鏡)、液性病理学的知見との比較といった

多角的アプローチで腫瘍の将来の治療を開発することを目的 とします。この学術研究により、患者さんへの侵襲はまった くありません。また、研究期間中もその後も患者さんの個人 情報は厳重に管理され、もれることはありません。

●研究の期間

2020年4月から2026年3月まで

●他の機関に提供する場合には、その方法

これらの研究は、国内外の研究機関と協力して行われる場合 があり、現時点での共同研究機関である国立がん研究センタ 一•静岡県立大学•国立遺伝学研究所•京都大学工学研究科 附属 流域圏総合環境質研究センター東芝メディカル・東京大 学・上武大学・広島大学・東北大学 東北メディカルメガバン ク機構への提供は個人を特定する情報は削除し、パスワード をかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行いま す。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。 あらたな、共同研究機関が必要になった場合本学の臨床研究 倫理委員会で審議を受けた後、上記の条件のもとに行います。 現在では、このような知見が国際共同研究の形で行われるこ とが普通であり、個人の情報などを厳密に保護しながら海外 の研究機関とともに研究を進める場合があります。

料・情報の項 目≫

≪利用し、又│●研究に使用する試料・情報

は提供する試 | 試料は、病理診断に使われた組織の残りの部分・血液の解析 をした残りの血清部分で、病理番号で管理、蓄積したあと、 研究のための別個の番号で管理されます。個人の特定につな がる情報を削除して行います。

の範囲≫

≪利用する者 | ●機関名および責任者名

※末尾一覧を参照。

≪試料•情報 の管理につい て責任を有す る者の氏名又 は名称≫

浜松医科大学 医学部 細胞分子解剖学講座 瀬藤光利

の利用又は他 む)≫

≪試料・情報 | あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの 試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場 の研究機関へ「合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、個人との連 の提供の停止|結がわかる段階では、いつでも使用や提供を停止することが (受付方法含 できます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もし くはメールでお願いします。

≪資料の入手 または閲覧≫

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応 じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研 究結果(研究でありますので、非常に興味深い、あるいは意 味のある結果でない場合が往々にしてあることをご理解くだ さい)を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨 をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない 範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えることがある 場合があります。病気全般についての結果については、個々 の data

についてはお伝えできない場合があります。希望された資料 が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または 閲覧はできません。

≪情報の開示 >>

研究結果は学術論文や学術集会で個人の特定ができない形で 発表されます。専門的な内容ですが希望される場合は説明い たします。

≪問い合わせ 先≫

T431-3192

浜松市中央区半田山一丁目 20番1号

浜松医科大学

部署名: 細胞分子解剖学講座

担当者: 瀬藤光利

TEL: 053-435-2086

E-mail: setou@hama-med.ac.ip

共同研究機関	
機関名	研究責任者
浜松医療センター	病理診断科•森弘樹
磐田市立総合病院	病理部•鈴木潮人
聖隷浜松病院	病理診断科•大月寛郎
静岡県立総合病院	病理診断科•鈴木誠

国立がん研究センター	吉田輝彦
神奈川がん臨床研究・情報機構	会長 武宮省治
がん研究所	竹内賢吾
東邦大学医療センター佐倉病院	准教授 長島誠
東京都健康長寿医療センター	病理診断科・新井富生
旭中央病院	外科医長 吉田幸弘
自治医科大学大宮医療センター	准教授 土橋洋
佐々木研究所付属杏雲堂病院	菅野康吉
小田原市立病院病理診断科	長谷川章雄
佐賀大学	医学部呼吸器内科•荒金尚子
聖隷三方原病院	呼吸器センター長の棚橋雅幸
静岡市立病院	病理科長 森木昭
鈴鹿総合病院	病理科長 村田哲也
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	院長•中村利夫
藤枝市立病院 	消化器内科 丸山保彦
自治医科大学	准教授•高山達也
国立精神・神経医療研究センター	総合外科部長・緑川泰 精神保健研究所精神薬理研究部・ 池田和隆、西澤大輔、中山京子
浅間総合病院	外科•池田正視
熊本大学	外科•池田公英
順天堂大学	胸部外科•高持一矢
東北大学・東北メガバンク	平塚真弘
日本医大	呼吸器内科•清家正博
自治医科大学	内科学講座•三浦義正
北見赤十字病院	外科•山口晃司
筑波大学付属病院	消化器内科•森脇俊和
東京大学	
付属病院上部消化管外科	野村幸世
新領域	松田浩一
医科学研究所	古川洋一
先端研	油谷浩幸
医学部	石川俊平
秋田大学	病理学•後藤明輝
国立がん研究センター研究所	

発がん・がん予防	戸塚ゆ加里
がんゲノミクス	十時泰
理事長	中釜斉
国立がん研究センター	
がん対策研究所	岩崎基
疫学研究部	
星薬科大学	戸塚ゆ加里
	Laboratory for Pediatric
Loyola Marymount	Sarcoma Biology/ Thomas G.
University	P. Grünewald
George Emil Palade University of	
Medicine	Simona Gurzu
三重中央医療センター	渡邉典子
三重大学	渡邉昌俊
外務省医務官	長井俊治
静岡県立大学	薬学部 渡辺賢二
上武大学	渋谷正史
园立》。	井ノ上逸朗
国立遺伝学研究所	中岡博史
佐々木研究所	
所長	相村春彦
腫瘍ゲノム研究部	中岡博史
腫瘍細胞研究部	山口英樹
ペプチドミクス研究部	佐尺木一樹
京都大学工学研究科附属 流域圏総合環	+/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
境質研究センター	松田知成
東芝メディカル	岩田誠司
放射線影響研究所	林 奉権
広島大学	林 幾江
	メガバンク機構 ゲノム解析部門
	生命情報システム科学分野・基盤
東北大学 東北メディカル	解析事業部 ゲノムプラットフォ
	ーム連携センター/木下賢吾
Tirgu-Mures 医科薬科大学(Tirgu-	Die Siegono Communication
Mures, ルーマニア)	Dr. Simona Gurzu
ルワンダ大学 ルワンダ大学付属病院	Dr. Emile MUSONI

ブロロか/ トン・D	Dr. Deogrotias RUHANGAZA
ブタロがんセンター	Dr. Eugene NKUSI
岩手医科大学	菅井有
富士宮市立病院	
病理診断科	小宮山明
消化器外科	- 礒垣淳
日立が / 四空わいり - 社会と歴史[7]	
国立がん研究センター 社会と健康研究	津金昌一郎
センター センター長	
疫学研究部	岩崎基
島田市立病院	橘充宏
静岡県立がんセンター	杉野隆
焼津市立病院	久力権
静岡済生会病院	北山康彦
神奈川がんセンター	宮城洋平
横浜市立市民病院	高橋正純
広島大学病院	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
札幌医大	櫻井晃洋
京都大学 医学領域	海川吉
産学連携推進機構	渡辺亮
横浜市立大学	奥寺康司
横浜市立大学附属市民総合医療センター	稲山嘉明、浜之上はるか、黒田晋之
(関係に立入手的属に反称して) (関係に対する)	介
公益財団法人東京都医学総合研究所	池田和隆、西澤大輔、長谷川準子
土浦協同病院	白井謙太朗、谷岡利朗、鶴田晴美
	エーカポット・パンナチェート、
	石川雄一
医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院 遺	田村和朗
伝子診療センター	
近畿大学 大学院 総合理工学研究科・客	
員教授	小嶋志之
小嶋診療所	
島田市立総合医療センター病理診断科	橘充弘
佐賀大学消化器内科	武富啓展
彩の国東大宮メディカルセンター	小島成浩、小川史洋
佐々木研究所杏雲堂病院	岩屋啓一

慈泉会 相澤病院	茂木英明、下条久志、亀山亨
愛知県立がんセンターがん予防研究分野	岩下 雄二